

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社クラレ		住所 〒 100-0004 東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー	
本票作成	部署名 : 技術本部 動力統括部			
主たる業種	分類コード	16	業種名 : 化学工業	
事業の概要	合成樹脂、合成繊維等の製造 従業員 : 2,197人 (岡山事業所 : 1,008人、倉敷事業所 : 700人、鶴海事業所 : 301人、くらしき研究センター : 188人)			
県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地	
	①	岡山事業所	岡山市南区海岸通1丁目2番1号	
	②	倉敷事業所	倉敷市玉島乙島7471番地	
	③	鶴海事業所	備前市鶴海4342番地	
	④	くらしき研究センター	倉敷市酒津2045番地1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台			
温室効果ガス排出量	基準年度(令和5年度)	(令和6)年度排出量	目標年度(令和7年度)	
	735,033 t CO ₂	675,678 t CO ₂	720,332 t CO ₂	
	番号	工場等の名称	(令和6)年度排出量	
	①	岡山事業所	585,093 t CO ₂	
	②	倉敷事業所	68,577 t CO ₂	
	③	鶴海事業所	19,830 t CO ₂	
	④	くらしき研究センター	2,178 t CO ₂	
			t CO ₂	
			t CO ₂	
			t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間 : 令和6年度 ~ 令和7年度 (2箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(6)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	8.1 %	2.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達
	(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
基準年度			(6)年度	目標年度
CO ₂ /()			CO ₂ /()	CO ₂ /()
(該当事業者のみ記入)				
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和6年度)	達成率等
【削減状況の自己評価】				
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度温室効果ガス排出量は、基準年度(令和5年度)に対して、△59,355 t CO₂ (岡山事業所△62,319tCO₂、倉敷事業所+1,061tCO₂、鶴海事業所+1,941tCO₂、くらしき研究センター△38tCO₂)、8.2%減少し、目標とした△1%/年(3年間で△3%)の削減は達成出来た。 温室効果ガス排出量の減少は、岡山事業所での生産量の減少、ボイラーフuelにおける石油コークス割合低下(重油増)、6.5ガスが全て3,000tCO₂未満(前年比△3,210tCO₂)及び省エネ施策の確実な遂行によるものである。 今後も、計画した措置を確実に実施するとともに、追加の削減対策を検討する。 				

【推進体制】

事業所長をトップとする環境管理組織で環境改善活動に取り組んでおり、この中で、GHG削減計画に関してはCO₂削減専門部会が削減活動の企画、管理を行い、GHG削減活動を推進している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山事業所	(令和6年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> ・ビニロンBCA蒸気削減 (CO₂削減量550t/年) ・A-6Tボトム更新による還流比改善 (CO₂削減量1,670t/年) ・排脱再生系減温器更新による余剰蒸気削減 (CO₂削減量6,980t/年) ・ボバールV-1T増設による省エネ (CO₂削減量710t/年) ・ビニロン仕上コンプレッサー台数制御改善 (CO₂削減量304t/年) ・12B排ガス量低減による燃料使用量削減 (CO₂削減量525t/年)
岡山事業所	(今後実施予定分) <ul style="list-style-type: none"> ・ビニロンMRC蒸気削減 (塔内温度調整) (CO₂削減量112t/年) ・ボバールV1T-1, 3負荷バランス最適化によるスチーム削減 (CO₂削減量335t/年) ・高度制御再構築による回収工程の熱回収最適化 (CO₂削減量3,200t/年) ・EP-4のCCWチラー撤去による電力削減 (CO₂削減量1,492t/年)
倉敷事業所	・貫流ボイラー 熱回収による効率改善 (CO ₂ 削減量320t/年)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無
その他	無

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無
その他	無

【その他特記事項】

--